

## 『女性の視点から避難所を考えませんか?』第16回 会議録

◆開催日 平成28年11月30日(水) 10:00~12:10

◆場所 四谷ひろば B館1階 大人のサロン

◆参加者 新宿区危機管理課1名、四谷特別出張所担当 地域住民13名 計15名

### 10:00 開会

**レディス会 会長** 先日の避難訓練は、お疲れさまでした。今年の避難訓練に参加して、少し取り組み方が自分の中で変わっていました。二年間の勉強の成果というか、よく理解できて、今までは、なんのこともだかわからなかったことも、わかって参加できたと思います。また、炊き出しの担当で、ほかのエリアを見学していませんでしたが、炊き出しのところでは、四谷中学の生徒さんに手伝ってもらいました。その中で、自分が作業をするということではなく、子どもたちに指示を出して作業してもらおうということに徹しました。今後ともよろしく願いいたします。

**新宿区危機管理課担当** 先日の避難訓練の際に、倉庫にある受水槽と災害トイレ用ホースの組み合わせがわかりづらいというご指摘がありましたので、区別しやすいように色のついたテープを巻きます。

**四谷特別出張所担当** 11/27 開催の四谷ひろば避難所訓練、お疲れさまでした。当日は生憎の曇天で、松川会長と相談し、雨メニューでの実施となりました。行政機関もあわせた全体では180名の参加となりました。レディス会の2年間で検討してきた問題点も提起できたかと思います。今後、具体的なことで、運営協議会ともすり合わせて、具体案につながればと思います。

### 10:10 情報交換会

今日は、11/27の避難訓練に参加して感じたこと、また気が付いたこと、今後の展開について、意見交換をしていければと思います。

今回、残念ながら、雨天バージョンでした。仮設トイレは、廊下の奥に設置されていました。また、起震車も中止でした。

今までの話合いの資料をまとめ、パワーポイント並びに配布資料を作成いたしました。最終確認を皆さんにできず申し訳ありませんでした。今回、その点についても改正したほうがいい点等ありましたら、お知らせください。いずれは、カラー刷りで配布できるようになるといいのですが…。

この資料を作成している中で、いろいろと思い返したことや、まだまだ足りない現実があると感じました。例えば、トイレのことが一番大事としながらも、現実はどうなるのか。二重にトイレにビニールをかけて、という話は出ていましたが、避難所で大勢の人が利用するには、もっと細かく設定を考えておかねばならないと気が付きました。避難訓練の際には、丸形の便座に、洗面器にビニールをかけて、新聞紙を敷いて、個別利用の場合について展示してありました。災害用トイレについては、下水管にそのまま流すことになるので、この洗面器は必要がありませんが、夜間に室内のトイレを利用しようとするならば、個別に対応できるものと考えておく必要があります。ひろばの便座には、ヘルメットがぴったりとはまるサイズでした。ヘルメットの金具をはずして、ビニールをかけ、上に新聞紙を敷いて、一人ずつ使用し、ポリバケツに廃棄するといいいのではないかと思います。また、スーパーの袋だけではなく、50センチ幅のラップを購入してみました。排尿の際には、ラップを敷いて、凝固剤の代わりに生理用のナプキンを載せようと思っています。

とにかく、夜間に災害が起きたらと心配で、館内にはLEDライトをもう少し増設しようと思っています。また避難所開設の際には、建物が傾いていないか、ヒビ割れがないかなどの施設の安全確認をしたうえで入館させないとならず、夜間で雨が降っていたら、まずは講堂の安全確認をして、折れ戸を開けておくとか、ほかに手伝ってくれる人がいたときに、すぐに指示を出して協力していただけるようにしておかねばと思っています。やはり、なにごとにも準備をしていれば、常に冷静に指示が出せるけれども、指示を出すべき人がパニックになっていると、どうにもならないだろうと不安でなりません。今日、このあと、いまの話も含めて、避難訓練の反省と提案などについて茶話会の中で、お話しをお願いいたします。

### 10:35 茶話会 & 意見交換 ※2グループに分かれて意見交換し、最後に発表してください。

#### ○仮設トイレについて

組立をする際に、手際がよく出来る人がいた。テントの杭をはめるためには力も必要だが、要領よく組立をしてくれた。指示を出してくれる人がいると良い。「リーダーの冷静さ」は重要である。

#### ○避難ルートについて

普段から、どこをどうやって、避難所までくるか等、家族で話し合っておくとよい。

#### ○担架について

担架がなく、毛布で運ぶという時に、隣の人と手を交差にして、毛布をつかむと、運びやすかった。

運ぶときには、狭いとか、足元などの環境にも気を付けたほうがよい。リヤカーも同様。

#### ○新聞紙の備え

新聞紙は、トイレにも活用できるが、いろいろなことで重宝する。暖房。燃料。水を吸う。  
※衣装ケースなどに入れて、備蓄などしておくとしやすい。

#### ○手伝いの人について

当日は、担当する場所しか見られない。ほかの場所も順番に体験することが必要なのではないかな。

#### ○蛍光灯の落下防止について

蛍光灯がはずれて、床に落ちると粉々に割れてしまい、足元が危ないので、廊下などの蛍光灯に、落ちないようにネットとか、講堂のようなカバーがあるとよい。

#### ○避難訓練のマンネリ化について

出席者も取組みも同じで、マンネリ化していると感じる。個人宅でも、ブレーカーを落としたり、水道の元栓を閉める等、30分程度でもいいから体験してみると良いと思う。⇒年に1・2回の準備のいる大がかりな訓練だけではなく、突然のパーツ型小型訓練を複数回するのも必要かと…

電気が止まると、電話もできないし、エレベータも使えない。集合住宅では、ポンプで水をくみ上げているため、水道も使えなくなる。

#### ○今年のアルファ化米は、とても美味しかった

お湯の量を指示の線より多少多めにした。去年は、少し固かった。しゃもじだけでかき混ぜず、袋の底を持ち上げて、全体的に混ぜ込むと具がばらけて、熱の通り方がよくなる。今回は、手間をかけてかき混ぜてみた。また、パックに詰める量に違いがあり、少ない人と多い人がいたので、難しい。いっそのこと、ラップでおにぎりにするのがいいのではないかな。茶碗にラップを敷いてご飯をにぎれば、衛生的にも量の統一もできると思う。配布しやすいし、箸がいらない。

#### ○ベテランの人が、若い人に教えるということが大事。「冷静なリーダー」につながる。

万が一の際に、ボランティアを募集するが、協力の申し出があったときにタイミング良く「これ、お願いします」と指示が手渡せるようなカード式におくのはどうだろうか。そのためには、あらかじめ、手順の確認とその指示を的確に伝えられるような掲示やマニュアルの作成などを用意しておくことをしたい。

#### 【例】トイレの取組みの場合

※施設内に設置するトイレについて

- ・ルール等の掲示をする。掲示場所と掲示物の準備と、その指示書により設置する人
- ・便座におく容器代わりにヘルメットを置いて排泄するために、ヘルメットとその他備品の準備をし、使用の説明や設置の仕方などの掲示物の準備。ヘルメットをビニール袋で包み、その上に、廃棄用にさらにビニールまたはラップを用意し、新聞紙や生理用品などを載せたりして、積み重ねておく等の作業をする人。
- ・高齢な方でも手伝える仕事として、イスに座っていて、トイレ使用する人に、「この掲示を読んでね」と促す案内人。

等、具体的な作業内容を記したボランティアカードを作成しておき、すぐに手渡せる体制作り

#### 12:05 閉会

次回は、具体的な作業をして、実際にどう動くか、何が必要になるか、どう表現したらいいか。実技的なことで協議を予定し、トイレに個別のヘルメットを設置してみたり、トイレを組立てたいと思いますので、次回は、休館日の2/23に開催予定。

四谷特別出張所担当 危機管理課が3/9に「避難所開設キット」に関するワークショップを開催する予定です。町会長・防災部長を対象としていますが、四谷ひろば避難所はレディス会からも数名の参加ができるように調整したいと思っています。

**【次回、レディス会 2月23日(木) 10:00～ 多世代交流サロンにて】**